

平成 27 年度 C 調査問題 中学校 1 年数学 (1)

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

※答えはすべて解答用紙に書きなさい。

【1】 次の計算をしなさい。

(1) $-6 - 0.5 \times 4$

(2) $-\frac{1}{2} + \frac{1}{5}$

【2】 下にあげた 4 つの式で、 a は、負の数を表しています。

計算の答えが a の表す数より大きくなるものを、下のア～エの中からすべて選び、その記号を書きなさい。

ア $a \times (-2)$ イ $a \times 0.7$ ウ $a \div (-2)$ エ $a \div 0.8$

【3】 青いテープと赤いテープの長さについて、次のことがわかっています。

青いテープの長さは a cm です。

青いテープの長さは、赤いテープの長さの $\frac{3}{4}$ 倍です。

赤いテープの長さは何 cm ですか。 a を用いた式で表しなさい。

【4】 一次方程式 $4x - 15 = 9$ を次のように解きました。

$$\begin{aligned} 4x - 15 &= 9 \\ 4x &= 9 + 15 \\ 4x &= 24 \quad \dots\dots ① \\ x &= 6 \quad \dots\dots ② \end{aligned}$$

左の①の式から②の式へ変形してよい理由として正しいものを、下のア～エの中から 1 つ選びなさい。


- ア ①の式の両辺に 4 をたしても等式は成り立つから、②の式へ変形してよい。
- イ ①の式の両辺から 4 をひいても等式は成り立つから、②の式へ変形してよい。
- ウ ①の式の両辺に 4 をかけても等式は成り立つから、②の式へ変形してよい。
- エ ①の式の両辺を 4 でわっても等式は成り立つから、②の式へ変形してよい。

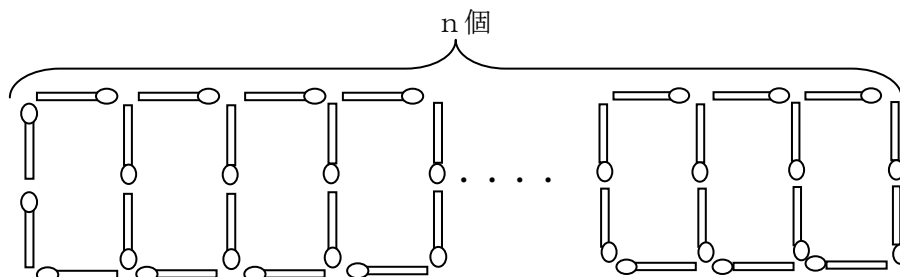
【5】 次の計算をしなさい。

$6x - 1 - x$

平成 27 年度 C 調査問題 中学校 1 年数学 (2)

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

- 【6】 下の図のように、マッチ棒をならべて長方形の形  を n 個 つくります。



このとき、マッチ棒全部の本数を n を使って表しなさい。

- 【7】 あるバレーボール大会では、4 チームが他のチームと 1 回ずつ試合をし、下の表のような結果になりました。



	勝った試合数	負けた試合数	引き分けた試合数
P チーム	0	2	1
Q チーム	1	1	1
R チーム	1	0	2
S チーム	2	1	0

この大会では、次のようにして順位が決められました。

【順位の決め方】

1 試合ごとに勝ったチームに 3 点、負けたチームに 0 点、引き分けたチームに 1 点ずつ与え、合計点数の多いチームを上位として順位をきめる。

したがって順位は、勝った試合数を a 、引き分けた試合数を b とするとき、 $3a + b$ の値で決まる。

- (1) この大会の順位について、下のア ~ ウ の中から正しいものを 1 つ選んで、その記号を書きなさい。

ア この大会での 1 位は、Q チームである。

イ この大会での 1 位は、S チームである。

ウ この大会での 1 位は、Q チームと S チームの両チームである。

けんたさんは、【順位の決め方】を変えると順位が変わることに気づきました。

【けんたさんが考えた順位の決め方】

1 試合ごとに勝ったチームに 2 点、負けたチームに 0 点、引き分けたチームに 1 点ずつ与え、合計点数の多いチームを上位として順位をきめる。

したがって順位は、勝った試合数を a 、引き分けた試合数を b とするとき、 $2a + b$ の値で決まる。

- (2) けんたさんが考えた順位の決め方だと、R チームと S チームが同点で 1 位になることを、式や言葉を使って説明しなさい。

平成 27 年度 C 調査問題 中学校 1 年数学 (3)

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

【8】次の問題について考えます。

<問題>

家から 2 km 離れた駅に向かって、妹が家を出発しました。兄が妹の忘れ物に気付いて、妹が出発してから 6 分後に、同じ道を自転車で追いかけてきました。

妹は分速 100m、兄は分速 250m で進むとすると、兄が妹に追いつくのは兄が出発してから何分後ですか。

(1) 兄が出発してから x 分後に妹に追いつくとすると、妹に追いつくまでに兄が進む道のりは $250x$ m と、文字を用いた式で表すことができます。

兄に追いつかれるまでに妹が進む道のりを x の文字を用いた式で表しなさい。



(2) 兄が妹に追いつくのは、兄が出発してから何分後か求めなさい。

(3) 問題の中に「兄が妹の忘れものに気付いて、妹が出発してから 6 分後に、同じ道を自転車で追いかけてきました。」とありますが、「妹が出発してから 6 分後」でなく、「妹が出発してから 18 分後」に追いかけたとします。

このとき、兄が出発してから x 分後に追いつくとすると、 $250x = 100(x+18)$ という方程式をつくることができます。これを解くと、 $x=12$ となりますが、この解は問題にあっていません。その理由を、数や言葉を使って説明しなさい。

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問 / 12 問

【1】	(1)	
	(2)	

【2】	
-----	--

【3】		c m
-----	--	-----

【4】	
-----	--

【5】	
-----	--

【6】		本
-----	--	---

【7】	(1)	
	(2)	

【8】	(1)	m
	(2)	分後
	(3)	

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問 / 12 問

【1】	(1)	- 8
	(2)	$\frac{3}{10}$

【2】	ア, イ, ウ
-----	---------

完答

【3】	$\frac{4}{3} a$ cm
-----	--------------------

【4】	エ
-----	---

【5】	$5x - 1$
-----	----------

【6】	$4n + 2$ 本
-----	------------

$6n - 2(n - 1)$, $n + n + 2n + 2$ など, $4n + 2$ と同じ数量を文字式に表していれば正答

【7】	(1)	イ
	(2)	<p>(例) 各チーム $2a + b$ の値を求めると, 次のようになる。</p> <p>Pチーム $2 \times 0 + 1 = 1$</p> <p>Qチーム $2 \times 1 + 1 = 3$</p> <p>Rチーム $2 \times 1 + 2 = 4$</p> <p>Sチーム $2 \times 2 + 0 = 4$</p> <p>RチームとSチームの値が4になり, 他チームの値より大きいので, 両チームが同点で一位となる。</p>

各チームの値

R, Sチームの値が等しく, 他チームと比べ大きいこと

【8】	(1)	$100(x + 6)$ m
	(2)	4 分後
	(3)	<p>(正答例)</p> <p>兄が 12 分後に追いついたとすると, 妹のいる地点が家から 3000m 進んだ所となり, 家から駅までの道のりの 2000m をこえてしまうので, 問題にあわない。</p>

兄が追いついたとした時の妹の進む距離

家から駅までの道のりをこえてしまうこと

中学校 1 年数学【1】解説シート

◆出題の趣旨

正の数、負の数の四則計算ができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにする。

ウ 正の数、負の数の四則計算をすること

◆解答類型 (1)

1◎	-8 と解答しているもの	人	%
2	-22 と解答しているもの		
3	-26 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(2)

1◎	$-\frac{3}{10}$ と解答しているもの (大きさの等しい分数を含む)	人	%
2	$\frac{1}{3}$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

文字式や方程式、比例や一次関数などの学習の基盤となる、分数や小数を含む計算指導の充実を図り、確実に計算できるまで定着させましょう。

- 計算の順序を意識して計算することができるように、継続して指導することが大切です。
- 異分母の分数の加法や減法の計算では、形式的に通分の仕方を練習させるだけでなく、通分することによって単位分数の幾つ分として考えられるようにすることが大切です。

中学校 1 年数学【2】解説シート

◆出題の趣旨

小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について、理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。

イ 小学校で学習した数の四則計算と関連付けて、正負の数の四則計算の意味を理解すること。

◆解答類型

1◎	ア, イ, ウ と解答しているもの	人	%
2	ア と解答しているもの		
3	イ と解答しているもの		
4	ア, イ と解答しているもの		
5	ア, ウ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

乗数と積の大きさ，除数と商の大きさを調べる活動を位置付けましょう。

- 数直線や図などを用いたり，具体的な場面に当てはめたりして数量の関係をとらえられるように，乗数と積の大きさ，除数と商の大きさを調べる活動を位置付けましょう。
- 正の数や負の数についての計算の意味が正しく理解できているか，負の数における大小関係が正しくとらえられているかを確認しましょう。

中学校 1 年数学【3】解説シート

◆出題の趣旨

数量の関係を文字式に表すことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第 1 学年 A 数と式

- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに，文字を用いた式の計算ができるようにする。
- エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し，式を用いて表したり読み取ったりすること。

◆解答類型

1◎	$\frac{4}{3}a$ と解答しているもの (数学的に同値と判断できるものを含む。以下同様。)	人	%
2	青いテープの長さ $\div \frac{3}{4}$ と解答しているもの (a を用いていない式で解答しているもの。)		
3	$\frac{3}{4}a$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

事柄や数量の関係を捉え，その関係を文字式に表すことができるようにしましょう。

- 事柄や数量の関係を捉え，その関係を文字式に表すことができるようにするために，関係を図に表したり，具体的な数や言葉を使った式を利用したりして関係を捉え，文字式に表す活動を取り入れましょう。
- 今回の問題を用いて授業を行う際には，青いテープの長さは赤いテープの長さを基準として示されていることを確認し，青いテープの長さを具体的な数で表したり，2本のテープの長さを線分図で表したりして，青いテープと赤いテープの関係を言葉や文字を使った式に表す活動を取り入れましょう。

中学校 1 年数学【4】解説シート

◆出題の趣旨

計算の意味を理解し、それらを適切に用いることができるかどうかをみる。
・方程式を解く際に、等式の性質の使い方について理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第 1 学年 A 数と式

(3) 方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。
イ 等式の性質を基にして、方程式が解けることを知ること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

手続きの理由や根拠を明確にして理解を深めましょう。

- 一元一次方程式を解く際に、移項を形式的に行うだけでなく、等式の性質が移項の根拠になっていることを理解できるようにすることが大切です。
- 2, 3 学年において学習する方程式の解き方について、それまでに学習した考え方を基にして、生徒が発見していけるような展開を工夫しましょう。

- ① 1 学年の「方程式」で学んだ移項の根拠となる等式の性質の学び直しの場合を設けて、「連立方程式」や「二次方程式」の授業を展開していきましょう。
- ② 「連立方程式」では、文字を 1 つ消去することで、1 学年で学んだ一元一次方程式に帰着できることや、消去する際に等式の性質を利用していることなどを意識させましょう。
- ③ 「二次方程式」では、平方根の考え方に帰着させることによって解を求める見通しがもてることを、単元を通して意識させましょう。

中学校 1 年数学【5】解説シート

◆出題の趣旨

一次式の減法の計算ができるかどうかみる。

◆学習指導要領との関連

第 1 学年 A 数と式

(2) 文字を用いて関係や法則を式に表現したり式の意味をよみとったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。
ウ 簡単な一次式の加法と減法の計算ができること。

◆解答類型

	解答類型	人	%
1◎	$5x-1$ と解答しているもの		
2	4 と解答しているもの		
3	$4x$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

関係や法則を式に表現したり式の意味をよみとったりして、文字式の計算を確実にできるようにしましょう。

- 文字式の計算を確実にできるようにするために、計算結果について具体的な数を代入して確認する活動を取り入れましょう。
- 与えられた式と計算した後の式に数を代入し、式の値が一致するかどうかを基に、計算過程を吟味する習慣をつけるようにすることが大切です。その際、「 $5x-1-x=4$ 」と解答したものを取り上げ、どこに誤りがあるかを見いだせるようにしたり、係数に着目して正しく計算する方法を考えられるようにしたりすることが大切です。

中学校 1 年数学【6】解説シート

◆出題の趣旨

文字を用いて事象の数量の関係を式に表すことができるかどうかをみる

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読みとったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。
- エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表すことを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること

◆解答類型

	解答類型	人	%
1◎	$4n+2$ と解答しているもの (同値ならば $6n-2(n-1)$, $2n+2n+2$ 等も可。)		
2	$6n$ と解答しているもの		
3	$4n$ と解答しているもの		
4	$6n+2$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

事象における数量やその関係を一般的に把握するために、数量の関係や法則などを文字式で表すことができるようにしましょう。

○ 文字と数の行き来を繰り返し行いましょう。

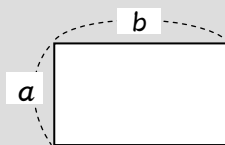
文字式を理解したり用いたりすることは、数学学習の基盤ですが、生徒にとって教師が考える以上に高いハードルであることを前提に、丁寧に指導しましょう。指導にあたっては、文字の学習の学び直しを位置付けながら、具体（数）と抽象（文字）の行き来を繰り返すことで、文字のもつ意味、特に変数の意味を理解できるようにすることが大切です。

(問) 長方形 n 個のとき
マッチ棒の本数は？

その際、数と文字をすぐにつなぐのではなく、言葉の式に表したり、○や□などの記号に表したりしながら、文字のもつ一般性について丁寧に取り扱い、理解できるようにしましょう。

1 個	$4 \times 1 + 2$	← 変わらない部分 はどこだろう。
2 個	$4 \times 2 + 2$	
3 個	$4 \times 3 + 2$	
n 個	$4 \times n + 2$	$4 \times (\text{個数}) + 2$
⋮		$4 \times \square + 2$

また、下のような図において、文字に表された式の意味を考える場面は、文字式の理解を深めるのに有効です。



【問】 縦の長さが a 、横の長さが b の長方形があります。このとき、 $2(a + b)$ は、何を表していますか。アからオの中から一つ選びましょう。

- ア 長方形の面積
- イ 長方形の面積の2倍
- ウ 長方形の周の長さ
- エ 長方形の周の長さの2倍
- オ 長方形の対角線の長さ

中学校 1 年数学【7】解説シート

◆出題の趣旨

事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができるかをみる。また、問題の条件を変えるなどして発展的に考え、見いだした事柄を数学的に表現できるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読みとったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表すことを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること

◆解答類型 (1)

1	ア と解答しているもの	人	%
2◎	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆解答類型（2）

	<p>（正答の条件） 次の①，②を書いている。</p> <p>① 各チームの $2a + b$ の値</p> <p>② R，S の値が同じで，他チームの値と比べて大きいこと</p> <p>（正答例）</p> <p>各チーム $2a + b$ の値を求めると，次のようになる。</p> <p>Pチーム $2 \times 0 + 1 = 1$</p> <p>Qチーム $2 \times 1 + 1 = 3$</p> <p>Rチーム $2 \times 1 + 2 = 4$</p> <p>Sチーム $2 \times 2 + 0 = 4$</p> <p>RチームとSチームの値が4になり，他チームの値より大きいので，両チームが同点で一位となる。</p>		
1◎	①，② を書いているもの	人	%
2○	② を書いてあり，①ではQ，Rチームの値のみしか書いてないもの		
3	① のみを書いているもの		
4	② のみを書いているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

事柄が成り立つ理由を，数学的な表現を用いて適切に説明できるようにしましょう。

- 数や図形について成り立ちそうな事柄を予想し，予想した事柄を正確に表現し文字式などを活用して事柄が成り立つ理由を説明したり，反例をあげて事柄が成り立たないことを示したりするという活動を取り入れることが大切です。
- 事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する場合，根拠となる事実を示した上で，結論を述べるのが大切です。例えば，本問で，RチームとSチームの2チームが同点で1位になる理由を説明するためには，そのことを示す計算結果に加え，この2チームが「同点で1位になる」という結論を記述する必要があります。指導にあたっては，文字式を用いた説明や図形の論証の学習場面に限らず，数学科の学習全般にわたって，ことがらが成り立つ理由を説明する学習場面で，説明すべきことがらの根拠と，それによって説明される結論の両方を述べる機会を意図的に設定することが大切です。

中学校1年数学【8】解説シート

◆出題の趣旨

問題解決の方法や手順，事柄が成り立つ理由を，数学的な表現を用いて的確に説明できるかどうかをみる。

- ・一元一次方程式を解くことができそれを利用できるかどうかをみる。
- ・解が問題の答えとして条件を満たしているかを問題文と照らし合わせて判断できるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読みとったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表すことを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること

(3) 方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。

ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。

◆解答類型 (1)

1◎	100(x+6) と解答しているもの	人	%
2	x+6 と解答しているもの		
3	100x と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答
(2)

1◎	4 と解答しているもの	人	%
2	$\frac{1}{25}$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答
(3)

(正答の条件) 次の①, ②を書いている。 ① 12分後の計算上の妹の進む距離 ② ①が, 家から駅までの道のり2000mをこえてしまうこと (正答例) 兄が12分後に追いついたとすると, 妹のいる地点が家から3000m進んだ所となり, 家から駅までの道のりの2000mをこえてしまうので, 問題にあわない。			
1◎	①, ②を書いているもの	人	%
2	①のみを書いているもの		
3	②のみを書いているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

方程式の解が問題の答えとして適切なものであるかどうかを調べる必要性と方法を理解することができるようにしましょう。

○ 問題解決の場面で方程式を利用する場合, 方程式の解が問題の答えとして適切なものであるかどうか, 調べる必要があるのはなぜか, それをどのように調べればよいかを理解することが大切です。方程式をつくる時に用いられていない問題の条件(家から駅までの道のり 2000m)に着目することによって, 解が問題の答えとして適切なものであるかどうかを調べる必要性を理解し, 解を問題の答えとするとその答えが条件を満たしているかどうかを問題文と照らし合わせて判断できるようにすることが大切です。また, 問題の条件を変えると方程式の解が問題の答えとして適切でない場合があることを取り上げることも有効です。

※答えはすべて解答用紙に書きなさい。

正答数

問/10問

- ① 山川さんの学級では、フリップを使って調理実習の報告会を行っています。山川さんのグループは、ハンバーグを中心とした献立にしました。次は、代表の【山川さんの報告】と【配付資料】と【フリップ①】【フリップ②】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

(注) フリップは説明に用いる、図や絵、言葉などを書いた大型のカード

【山川さんの報告】

【配付資料】

私たちのグループは、【配付資料】にあるように、教科書に載っているもの以外の材料を使って、ハンバーグのソースとその付け合わせを工夫しました。A

ソースは、大根をすりおろしてしょうゆを加え、あっさりとした味に仕上げました。短時間でおいしいソースができました。

付け合わせは、残った大根の葉を刻んで、にんじんと一緒にいためました。B

・・・(報告は続く)

【フリップ①】

【フリップ②】

ソースと
付け合わせに
一工夫



(作ったハンバーグとソース、付け合わせの写真)



<材料>

■教科書に載っている材料

- ・ひき肉
- ・たまねぎ
- ・パン粉
- ・牛乳
- ・卵
- ・塩・こしょう
- ・油

■教科書に載っているもの以外の材料

- ・大根
- ・にんじん
- ・しょうゆ
- ・レモン汁

- 一 山川さんは、【フリップ①】を示しながら話し始めようと考えました。【フリップ①】には、どのような効果がありますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 聞き手に説明の手順を示す。
- 2 話の内容を簡潔に示す。
- 3 聞き手に返事を求める。
- 4 話の内容を補う。

- 二 【山川さんの報告】と【配付資料】をもとにして、山川さんのグループが工夫したことについて質問をする場合、その質問として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 ひき肉は何グラム使いましたか。
- 2 ハンバーグを焼くときに注意したことは何ですか。
- 3 レモン汁は何に使ったのですか。
- 4 どのような分担で調理したのですか。

- 三 山川さんは、聞き手に伝わりやすくするために、報告の中で、【フリップ②】を見せることにしました。あなたなら、どのタイミングで見せますか。【山川さんの報告】の中のAから一つ選び(どちらを選んでもかまいません。)、選んだ理由を、あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 【山川さんの報告】の内容と結び付けて、理由を具体的に書くこと。

条件2 「私は、AかB」の時に見せます。なぜなら、(三十字以上、四十字以内)からです。」となるように書くこと。

るように書くこと。

- ② 中学生の高山さんの学級では、職場体験でお世話になった信州スポーツショップの福井さんに、お礼の手紙を出すことにしました。次の【「していただいたこと」と「メモ」と「お礼の手紙の下書き」】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【「していただいたこと」と「メモ」と「お礼の手紙の下書き」】

【メモ】

- ・あいさつのお手本をお店の方が見せてくれた。
 - ・あいさつするときの表情や言い方を教えてくれた。
- 笑顔であいさつ
できるようになった

【お礼の手紙の下書き】

前略

すがすがしい秋晴れの日が続いています。

さて、先日はお忙しいところ、職場体験をさせていただきありがとうございました。

初めてお店に制服姿で立った時は、かなり緊張していたので「いらっしやいませ。」と言えませんでした。

けれども、

おかげで、来店したお客さまに笑顔で挨拶あいさつできるようになりました。

今回の体験は、自分の将来について考えるきっかけとなりました。本当にありがとうございました。

秋も深まり、そろそろ冷え込んできました。風邪かぜなどひかれませんよう、お体を大切になさってください。

敬具

十月二十二日

山川中学校

高山千絵

信州スポーツショップ 店長

福井 秋夫 様

- 一 ――線部「前略」という書き出しは、この後の後に書かれている内容や、結語（結びの語）の「敬具」との対応から見えてふさわしくないのです、変更しようと思います。次の1から4のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 追伸 2 拝啓 3 草々 4 以上

- 二 ――線部「すがすがしい秋晴れの日が続いています。」について、あとの問いに答えなさい。

- ア 手紙の始めに書かれるこのような言葉を何と言いますか。次の1から4のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 時候のあいさつ 2 表書き 3 頭語 4 後付け

- イ 高山さんは、文章を読み直して、――線部「すがすがしい秋晴れの日が続いています。」のあとに、次のように書き足しました。書き足した内容から分かる高山さんの工夫として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

福井さんにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

- 1 相手と共有できる話題を取り上げることで、一層親しみをもって読んでもらえるようにしている。
- 2 中学校生活の様子を詳しく報告することで、相手に具体的なイメージを伝えるようにしている。
- 3 話題に対する自分の立場とその根拠を示すことで、より説得力をもたせるようにしている。
- 4 相手を気づかう表現を加えることで、相手を心地よい気持ちにさせるようにしている。

- 三 Aには、【「していただいたこと」と「メモ」】に基づいて文章を書くように思います。あなたならどのように書きますか。あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 相手に応じた言葉遣いで書くこと。

条件2 前後の言葉とつながるように、三十字以上、四十字内で書くこと。

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらすじ」 主人公の「おれ」は、数学の教師として東京から四国に来たが、初めての授業に戸惑ったり、興味のない骨董(注1)を売り込まれたりする日々を過ごしていた。

ある日の晩大町(注2)と云う所を散歩して居たら郵便局の隣りに蕎麦(注3)とかいて、下に東京と注を加えた看板があった。おれは蕎麦が大好きである。東京に居った時でも蕎麦屋の前を通って薬味の香(注4)いをかぐと、どうしても暖簾(注5)がぐりりなくなつた。今日までは数学と骨董で蕎麦を忘れて居たが、こうして看板を見ると①素通りが出来なくなる。ついだから一杯食つて行こうと思つて上がり込んだ。見ると看板ほどでもない。東京と断わる以上はもう少し奇麗にしそうなものだが、東京を知らないのか、金がないのか、滅法(注6)きたない。畳は色が変わつてお負(注7)けに砂でざらざらして居る。壁は煤(注8)で真黒だ。天井はランプの油煙(注9)で燻ぼつてるのみか、低くつて、思わず首を縮めるくらいだ。ただ麗々(注10)と蕎麦の名前をかいり張り付けたねだん付だけは全く新しい。何でも古いうちを買つて二、三日前から開業したに違ひなからう。ねだん付の第一号に天麩羅(注11)とある。おい天麩羅を持つてこいと大きな声を出した。するとこの時まで隅の方に三人かたまつて、何かつるつる、ちゅうちゅう食つてた連中が、②ひとしくおれの方を見た。部屋が暗いので、ちよつと気がつかなくなつたが顔を合せると、みんな学校の生徒である。先方で挨拶(注12)をしたから、おれも挨拶をした。その晩は久しぶりに蕎麦を食つたので、旨(注13)かつたから天麩羅を四杯平(注14)げた。

翌日何の気もなく教場(注15)へはいると、黒板一杯ぐらいな大きな字で、天麩羅先生とかいてある。おれの顔を見てみんなわあと笑つた。おれは馬鹿馬鹿しいから、天麩羅を食つちや可笑(注16)しいかと聞いた。すると生徒の一人が、しかし四杯は過ぎるぞな、もと云つた。四杯食おうが五杯食おうがおれの銭(注17)でおれが食うのに文句があるもんかと、さつさと講義を済(注18)まして控所(注19)へ帰つて来た。十分立つて次の教場へ出ると、③一つ天麩羅四杯也。但し笑う可(注20)らず。と黒板にかいてある。さつきは別に腹も立たなかつたが今度は癩(注21)に障(注22)つた。冗談も度を過(注23)ごせばいたずらだ。焼餅(注24)の黒焦(注25)のようなもので誰も賞(注26)め手はない。

(夏目漱石『坊っちゃん』による)

- (注1) 骨董こどう 古い絵やつぼなどで値打ちのあるもの。(注5) 麗々れいれい 派手で人目につくさま。
(注2) 滅法めっほう 度をこしていること。(注6) 教場けうじやう 教室。
(注3) 油煙あぶらけ 油が燃えるときに出る、黒い細かな粉。(注7) 四杯は過ぎるぞな、もし四杯は食べ過ぎではないですか。
(注4) 燻ぼつてる 煙で黒くなる。(注8) 控所ひかじよ 職員室。

一 線部①「素通りが出来なくなる」とありますが、その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 看板の美しい文字にひかれたから。
- 2 探していた蕎麦屋を見つけたから。
- 3 店の暗く汚い様子が気になったから。
- 4 東京にいた頃から蕎麦が好物だから。

二 線部②「ひとしくおれの方を見た」とありますが、この部分の意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 ちらつと、おれの方を見た。
- 2 親しげに、おれの方を見た。
- 3 そろつて、おれの方を見た。
- 4 熱心に、おれの方を見た。

三 線部③「一つ天麩羅四杯也。但し笑う可らず」とありますが、これを見たときの「おれ」の心情を次のようにまとめました。AとBに当てはまる言葉を本文の言葉を用いて、それぞれ五字以上十字以内で書きなさい。

生徒のしつこい行動を A と捉え、 B 気持ちになつて居る。

平成二十七年 度 C 調査問題 中学校二年 国語 解答用紙

二年
組
番
氏名

正答数

1

二
一

三
私は $\begin{matrix} \text{A} \\ \text{B} \end{matrix}$ の時に見せます。なぜなら、
からです。

2

二
ア
イ

三
20
40

3

二
一

三
A
B

平成二十七年 度 C 調査問題 中学校二年 国語 解答例

二年
組
番
氏名

正答数

1
2
3

私は (A) が (B) の時に見せます。なぜなら、
 聞 き 手 は 写 真 を 見 な が ら 聞 け る
 る ソ ー | ス と 付 け 合 わ せ が ど ん な も の か 、
 からです。

2
1
イ
4

た り し た
 い た り
 お 店 の 方 に 挨拶 の お手本 を 見せて いた だ
 表 情 や 言 い 方 を 教 え て いた だ

3
4

三 A
 B
 腹 立 た し い
 度 が 過 ぎ て いる

1 選択肢4は、フリップの一般的な効果を表していますが、山川さんが持つフリップの内容は【山川さんの報告】の内容を簡潔に示しているので選択肢2が正答です。

2 選択肢2、4は、「山川さんのグループが工夫したこと」ではなく、【配付資料】とも関係がありません。

3 【フリップ②】を見せるタイミングを、【山川さんの報告】と結び付けて、理由を具体的に書きます。

【正答例】
 ・(B) 説明したあとだと、説明した付け合わせがどんなものか、具体的に理解することができる(四十字)

・(A) 写真の「大根の葉」や「にんじん」を指し示しながら、工夫したことを説明できる(三十七字)

【誤答例】
 ・(A) 写真を見せると、おいしそうなハンバーグの様子が具体的に伝わる(三十字) 【山川さんの報告】にある「工夫したこと」と結び付けて書かれていない。

2 結語の「敬具」と対応させ、ふさわしい頭語「拝啓」を選びます。

2 手紙の基本的な形式をきちんと理解しましょう。また、相手に応じて表現を加えたり、話題を取り上げたりするなど、考えながら手紙を書きましょう。

3 【『していただいたこと』メモ』に基づいて、適切な言葉遣いで書きます。

【正答例】
 ・お店の方が挨拶のお手本を見せてくださったたり、表情や言い方を教えてくださった(三十三字) (相手に応じた適切な言葉遣いで書かれていない)

【誤答例】
 ・挨拶のお手本をお店の方が見せてくれたし、表情や言い方を教えてくれた(三十三字) (相手に応じた適切な言葉遣いで書かれていない)

3 「ひとしく」の意味は複数ありますが、この場面では、「おれ」の大きな声が気になった生徒が「同じように」自分の方を向いたという意味になります。

3 【A】には生徒のしつこい行動を「おれ」はどう捉えているか、そして、【B】にはどんな気持ちになったか、本文の言葉を用いて書きます。

【正答例】
 【A】…度が過ぎたいたずら(九字)・度を超している(七字) 【B】…癪に障った(五字)・腹が立ってくる(七字)

中学校 2 年国語 1 解説シート

◆出題の趣旨

- ・ 目的に応じて、資料を効果的に活用して話すこと (一)
- ・ 必要に応じて質問紙、足りない情報を聞き出すこと (二)
- ・ 資料の提示の仕方を工夫し、活用して話すこと (三)

◆学習指導要領との関連

〔第2学年〕A 話すこと・聞くこと

ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。《話すこと》 (一) (三)

〔第1学年〕A 話すこと・聞くこと

エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。《聞くこと》 (二)

◆解答類型

			人	%	
1	一	1◎	2 と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	二	1◎	3 と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【山川さんの報告】の内容と結び付けて書いている。 ② 理由を具体的に書いている。 ③ 「私は、 AかB の時に見せます。なぜなら、 (30字以上、40字以内) から です。」となるように書いている。				
	(正答例) ・(「私は、 A の時に見せます。なぜなら、) これから報告するソースと付け合わせが どんなものか、聞き手は写真を見ながら聞ける (39字) (からです。) ・(「私は、 B の時に見せます。なぜなら、) 説明したあとだと、説明した付け合わせ がどんなものか、具体的に理解することができる (40字) (からです。) 				
	三	1◎	条件①、②、③を満たしているもの		
		2	条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの		
		3	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかは不問とする。 (例) ・ A ソースと付け合わせを工夫したと報告で言っている →どうしてAなのか、理由が具体的に書かれていない。		
		4	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの (例) ・ A 写真を見せると、おいしそうハンバーグの様子が具体的に伝わる →【山川さんの報告】にある「工夫したこと」と結び付けて書かれていない。		
9		上記以外の解答			
0		無解答			

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

口頭で報告や説明をする際には、伝えたい内容を聞き手に伝えるため、文字や図表などを用いた分かりやすい資料を作ることが大切である。本問で取り上げたフリップは、作成が容易であり、様々な場面で活用することができる。作成する際には、

- ・話の内容を簡潔に示す
- ・話の内容を補う

など、フリップを使う意図を明確にすることが重要である。

報告や説明を聞く際は、話の流れに沿って内容を理解しながら、次のことなどを見いだしていくことが重要である。

- ・疑問に思ったこと
- ・確認したいこと
- ・更に知りたいこと

適切な質問は、話し手と聞き手それぞれの理解を深めることができる。このような意義を踏まえ、その場の状況に応じて適切な質問をすることに重点を置いた指導をすることが大切である。

また、一度作成した資料やその使い方について、リハーサルなどを通して相互に助言する中で修正を加えていくことが重要である。その際、なぜそのように修正するのかという理由を説明するように指導することが大切である。

(参照)

「平成 26 年度【中学校】解説資料」P. 16

https://www.nier.go.jp/14chousa/pdf/14kaisetsu_chuu_kokugo.pdf

「平成 27 年度【中学校】解説資料」P. 61

https://www.nier.go.jp/15chousa/pdf/15kaisetsu_chuu_kokugo.pdf

中学校 2 年国語 2 解説シート

◆出題の趣旨

- ・ 手紙の頭語等について理解していること (一)
- ・ 相手に応じて文章を書き直すこと (二)
- ・ メモしたことから、手紙の主文を書くこと (三)

◆学習指導要領との関連

〔第 2 学年〕B 書くこと

イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。《構成》 (一)

(二) ア

エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。《推敲》 (二) イ

ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。《記述》 (三)

◆解答類型

				人	%
2	-	1◎	2 と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

2	ニア	1◎	1 と解答しているもの				
		9	上記以外の解答				
		0	無解答				
	ニイ	1◎	4 と解答しているもの				
		9	上記以外の解答				
		0	無解答				
	三	<p>(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【「していただいたこと」メモ】に基づいて書いている。 ② 相手に応じた言葉遣いで書いている。 ③ 前後の文とつながるように、30字以上、40字以内で書いている。</p> <p>(正答例) ・お店の方に挨拶のお手本を見せていただいたり、表情や言い方を教えていただいたりした (40字) ・お店の方が挨拶のお手本を見せてくださったり、表情や言い方を教えてくださったりした (40字)</p>					
		1◎	条件①、②、③を満たしているもの				
		2	条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの				
		3	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの (例) ・挨拶のお手本をお店の方が見せてくれたし、表情や言い方を教えてくれた →相手に応じた言葉遣いで書かれていない。				
		4	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの *条件③を満たしているかは不問とする。 (例) ・お店の方が優しく励ましてくださった →【「していただいたこと」メモ】に基づいて書かれていない。				
		9	上記以外の解答				
		0	無解答				

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

頭語や結語は、手紙に特有のものであり、国語科の授業で取り上げて確実に指導することが必要である。「拝啓」、「前略」などの頭語、「敬具」、「草々」などの結語の使い方やそれぞれの言葉がもつ意味を確実に指導することが大切である。手紙の基本的な形式について理解させるとともに、手紙の形式がもつ意味を考えさせたい。つまり、頭語・結語・時候の挨拶などの用語とともに、それぞれの果たす役割を考えながら書くように指導することが有効である。

(参照)

「平成24年度【中学校】報告書」P.131

https://www.nier.go.jp/12chousakekkahoukoku/04chuu-gaiyou/24_chuu_houkokusyo-4_kokugoa.pdf

◆出題の趣旨

- ・ 登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解すること (一)
- ・ 文脈の中における語句の意味を理解すること (二)
- ・ 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること (三)

◆学習指導要領との関連

〔第1学年〕C 読むこと

ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること《文章の解釈》
(一)

〔第1学年〕C 読むこと

ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること《語句の意味の理解》 (二)

〔第2学年〕C 読むこと

イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。《文章の解釈》 (三)

◆解答類型

			人	%		
3	一	1◎	4 と解答しているもの			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			
	二	1◎	3 と解答しているもの			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			
	三	(正答の条件) A・Bが次の条件を満たして解答している。 A 生徒のしつこい行動を「おれ」はどう捉えているか、本文を基に書いている。 B 「おれ」はどんな気持ちになったか、本文を基に書いている。 ① それぞれ五字以上十字以内で書いている。				
		(正答例) ・ A 度が過ぎている (7字) ・ 度が過ぎたいたずら (9字) ・ B 腹立たしい (5字) ・ 癪に障った (5字)				
		1◎	正答の条件を満たしているもの			
		2	条件①を満たしていないもの			
		3	Aの条件を満たしていないもの (例) ・ 癪に障る *条件①を満たしているかは不問とする。 →「おれ」の気持ちが書かれており、生徒の行動をどう捉えたか書かれていない。			
		4	Bの条件を満たしていないもの (例) ・ いたずらをされた →いたずらと捉え、どんな気持ちになったか書かれていない。			
9		上記以外の解答				
0		無解答				

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

物語や小説などを読む際には、登場人物の言動や話の展開に注意して読み、人物の心情を豊かに想像するように指導することが大切である。

また、文学的な文章で使われる語句を理解するためには、その語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈に即して意味や効果をとらえるように指導することが重要になってくる。

さらに、話の展開に沿って、出来事に伴う登場人物の心情の変化を捉えながら読んでいくことが必要になる。その際、次のような学習活動が有効である。

【登場人物の言動の意味や心情を叙述に即して考えさせたいときには】

音読や朗読などの学習活動を通して、作品の語り方の特徴や登場人物の心情などについて感想をもち、交流する学習活動

【山場などで心情の変化を丁寧に考えさせたいとき】

その前後の出来事に対する主人公の言動を取り上げ、その時々的心情を表に整理するなどしてその変化を読み取る学習活動

(参照)

「平成 26 年度【中学校】解説書」P. 23

http://www.nier.go.jp/14chousa/pdf/14kaisetsu_chuu_kokugo.pdf

「平成 26 年度【中学校】報告書」P. 32

http://www.nier.go.jp/14chousakekkahoukoku/report/data/mlang_04.pdf

「平成 24 年度授業アイデア例」P. 5

http://www.nier.go.jp/12chousakekkahoukoku/08idea/24_chuu_jugyou_idea_houkoku.pdf

平成 27 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (1)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

※答えはすべて解答用紙に書きなさい。

【 1 】 a を整数とするとき、式 $3a + 1$ で表すことのできる数を、次の中からすべて選びなさい。



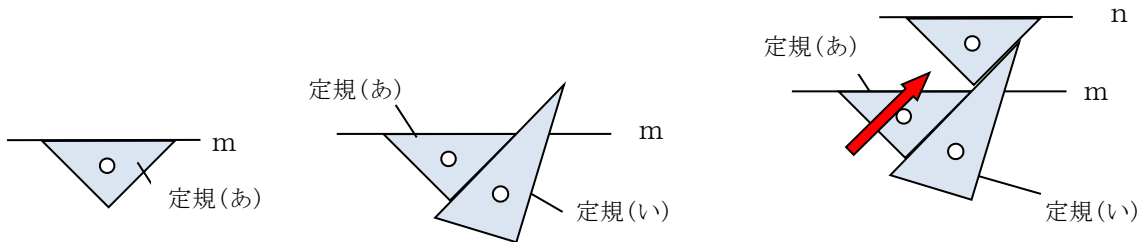
【 2 】 家から学校までは、1200m あります。家を出てから、分速 60m で x 分間歩き、途中から分速 80m で y 分走ったところ、家を出てから 10 分後に学校に着きました。

このとき、 $60x + 80y$ が表すものを、下のア～エから 1 つ選んで記号を書きなさい。

- ア 家から学校までかかった時間
- イ 家から学校までの平均の速さ
- ウ 家から学校までの距離
- エ 家と学校を往復した時の距離

【 3 】 連立方程式 $\begin{cases} x + y = 1 \\ 2x - y = -7 \end{cases}$ を解きなさい。

【 4 】 下の①、②、③の手順で、直線 m に平行な直線 n をひきます。



① 直線 m に合わせて、定規 (あ) を置く。

② 定規 (あ) に合わせて、定規 (い) を置く。

③ 定規 (い) を動かさずに、定規 (あ) を定規 (い) に沿って動かし、直線 n をひく。

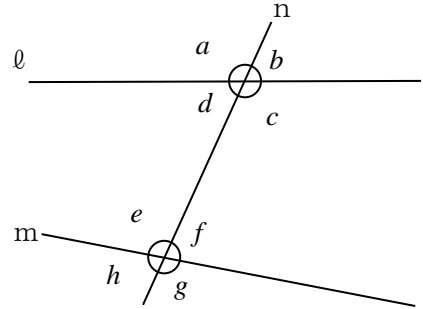
上の①、②、③の手順では、直線 m に対する平行な直線 n をどのような事柄を根拠にしてひいていますか。下のア～エまでのの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

- ア 1 つの直線に垂直な 2 直線は平行である。
- イ 1 つの直線に平行な 2 直線は平行である。
- ウ 2 直線に 1 つの直線が交わるとき、錯角が等しければ、2 直線は平行である。
- エ 2 直線に 1 つの直線が交わるとき、同位角が等しければ、2 直線は平行である。

平成 27 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (2)

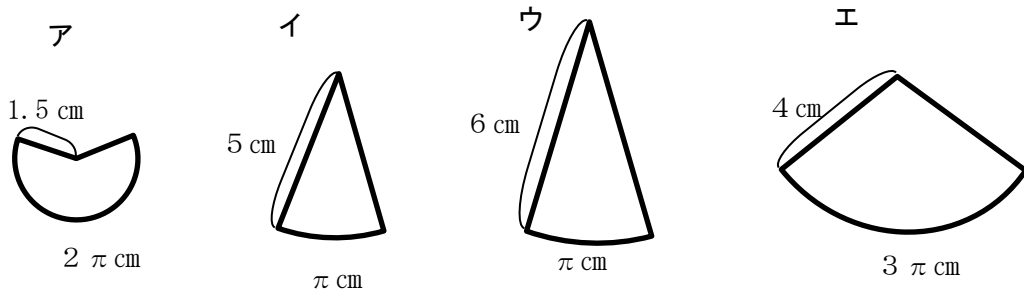
2 年 () 組 () 番 氏名 ()

- 【5】 右の図について、 $\angle f$ の同位角をアルファベットで答えなさい。



- 【6】 おうぎ形の弧の長さを l 、半径を r とすると、面積 S は、 $S = \frac{1}{2}lr$ で表すことができます。

このことを利用して、弧の長さが 2π cm、半径が 3 cm であるおうぎ形と面積が等しくなるおうぎ形をアからエの中から 1 つ選びなさい。



- 【7】 10cm の高さまで水が入った直方体の水そうに、一定の割合で水を入れます。水を入れ始めてからの時間と底から水面までの高さを調べると下の表のようになりました。

時間 (分)	0	2	4	6
高さ (cm)	10	14	18	22

このとき、0 分から 6 分までの底から水面までの高さについて、「時間を決めると、それにもなって高さがただ 1 つ決まる」という関係があります。

下線部を、次のように表すとき、 ① と ② に当てはまる言葉を書きなさい。

① は ② の関数である。

- 【8】 グラフの傾きが -2 である一次関数の式を、下のア～オまでのの中から 1 つ選びなさい。

ア $y = -2$ イ $y = 2x$ ウ $y = 3x - 2$ エ $y = -2x + 2$ オ $y = -\frac{2}{x}$

平成 27 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (3)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

【9】 右のカレンダーで、いろいろな数の並びを考え、その性質を見つけます。

例えば、右のように、たてに並んだ 3 つの整数の和は、 $6 + 13 + 20 = 39$ 、 $16 + 23 + 30 = 69$ など
いつでも中央の整数の 3 倍になりそうです。

このことを太郎さんは、次のように考えて説明しました。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

<考え>

中央の整数の 3 倍になることを説明するには、3 と中央の整数の積になることをいえばいい。

<説明>

たてに並んだ 3 つの整数のうち、最も小さい整数を n とすると、
たてに並んだ 3 つの整数は、 n 、 $n + 7$ 、 $n + 14$ と表される。
それらの和は、

$$\begin{aligned} n + (n + 7) + (n + 14) &= n + n + 7 + n + 14 \\ &= 3n + 21 \\ &= 3(n + 7) \end{aligned}$$

$n + 7$ は中央の整数だから、 $3(n + 7)$ は中央の整数の 3 倍である。

したがって、たてに並んだ 3 つの整数の和は、中央の整数の 3 倍になる。

(1) 花子さんは、このことを説明するのに、たてに並んだ 3 つの整数の表し方を太郎さんとは変えて計算したところ、 $3(n - 7)$ となりました。花子さんが考えた整数の表し方として、正しいものを下のア～ウの中から 1 つ選びなさい。

- ア 最も小さい整数を n とした。
- イ 中央の整数を n とした。
- ウ 最も大きい整数を n とした。

(2) 右のように、横に並んだ 3 つの整数の場合でも、
3 つの整数の和は、中央の整数の 3 倍になります。
このことを以下のように説明しました。
説明を完成させなさい。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

<説明>

横に並んだ 3 つの整数のうち、最も小さい整数を n とすると、
横に並んだ 3 つの整数は、 n 、 $n + 1$ 、 $n + 2$ と表される。それらの和は、

$$n + (n + 1) + (n + 2) =$$

(解答用紙に書きなさい)

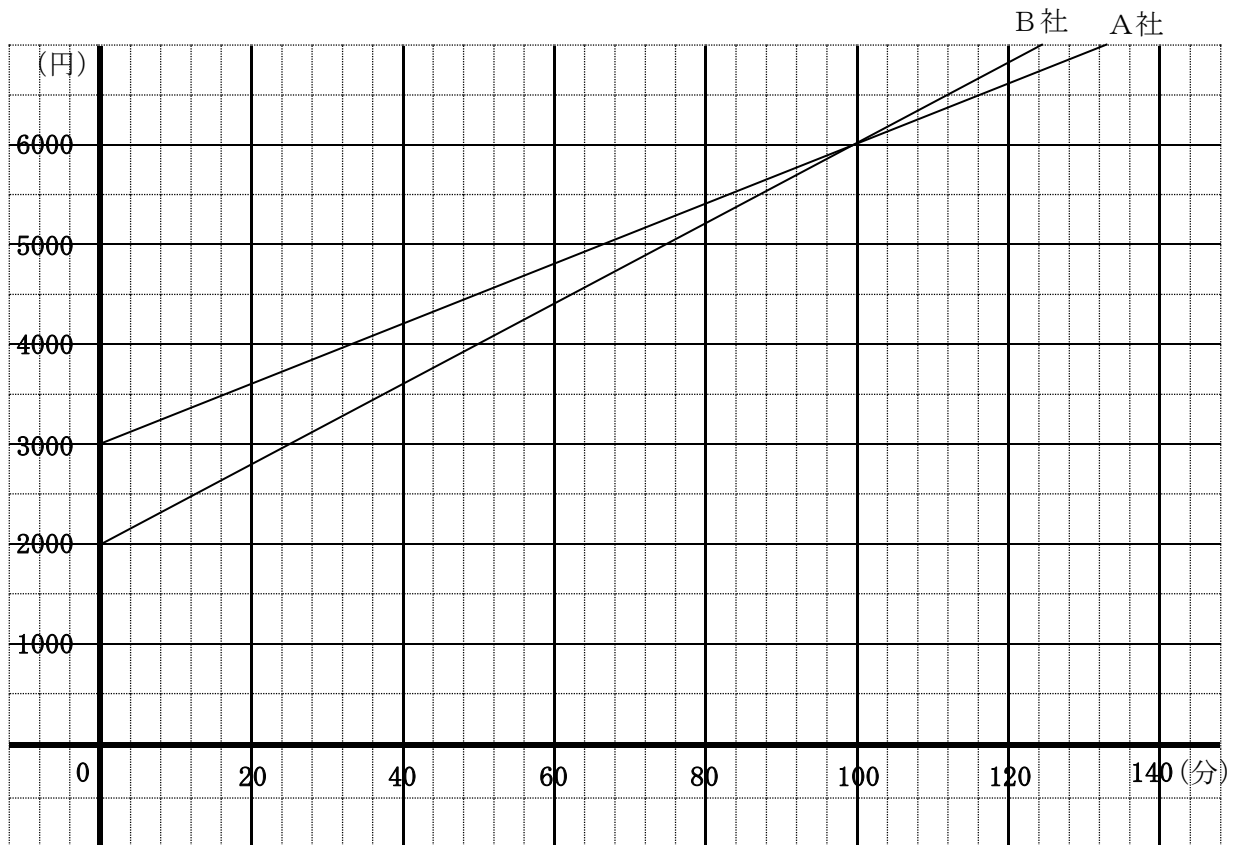
平成 27 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 (4)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

【10】 下のグラフは、携帯電話会社の A 社、B 社の通話時間と支払料金の関係をグラフに表したものです。A 社も B 社も、基本料金 (まったく通話しなくても支払わなければならない料金) と通話時間に比例してかかる通話料金の合計が支払料金となります。

A 社は、月額の基本料金が 3000 円で、60 分通話すると 1800 円の通話料金がかかり、その月の支払料金は 4800 円となります。B 社は、月額の基本料金が 2000 円で、60 分通話すると 2400 円の通話料金がかかり、その月の支払料金は 4400 円となります。

次の (1) , (2) の問いに答えなさい。



- (1) 通話時間を x 分、支払料金を y 円として、B 社について y を x の式で表しなさい。
- (2) 1 ヶ月の平均通話時間が 80 分のとき、支払料金を安くするには、A 社、B 社の 2 社のうち、どちらの会社の携帯電話を選んだ方がよいでしょうか。その理由を 2 つの会社のグラフを比較して、説明しなさい。

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

3つ, すべて書いて正答。足りない, 余分なものがあるものは×

正答数

問/12 問

【1】 -2, 1, 64

【9】
(1) ウ

【2】 ウ

【3】 $x = -2$
 $y = 3$

両方できて正答。

【9】
(2)

横に並んだ3つの整数のうち, 一番小さい整数を n とすると, 横に並んだ3つの整数は, $n, n+1, n+2$ と表される。それらの和は,

$$\begin{aligned} & n + (n + 1) + (n + 2) \\ &= n + n + 1 + n + 2 \\ &= 3n + 3 \\ &= \underline{3(n + 1)} \end{aligned}$$

①

②

③

$n + 1$ は中央の整数だから,
 $3(n + 1)$ は中央の整数の
3倍である。

①②③が書いてあれば正答。
(①③のみ, ①②のみの場合も正答とする。)

したがって, 横に並んだ3つの整数の和は, 中央の整数の3倍になる。

【4】 エ

【5】 $\angle b$

【6】 ウ

【10】
(1) $y = 40x + 2000$

【7】 ① 高さ
② 時間

両方できて正答。

【選んだ会社…B社】

【説明】

$x = 80$ のとき, A社よりもB社のグラフの
yの値が小さいので, B社の方が, 料金は
安い。よって, B社を選んだ方がよい。

【10】
(2)

①80 という数値や80分という記述
②グラフにおけるyの値でAとBを比較する記述
(例; A社よりB社のグラフのyの値が小さい。
; B社よりA社のグラフのyの値が大きい。)
①②が書いてあれば正答。
(同じ意味ならば言葉は違ってよい。)

【8】 エ

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問 / 12 問

【1】

【9】
(1)

【2】

【9】
(2)

横に並んだ 3 つの整数のうち、一番小さい整数を n とすると、横に並んだ 3 つの整数は、 n 、 $n+1$ 、 $n+2$ と表される。それらの和は、

$$n + (n + 1) + (n + 2)$$

$$=$$

【3】

$x =$

$y =$

【4】

【5】

∠

【6】

【10】
(1)

$y =$

【7】

①

②

【10】
(2)

【選んだ会社… _____ 社】

【説明】

【8】

中学校 2 年数学【1】解説シート

◆出題の趣旨

文字の値が整数の時に、式の値について考察することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

◆解答類型

1◎	-2, 1, 64 と解答しているもの	人	%
2	64 と解答しているもの		
3	-2, 64 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

○ 数の範囲に基づいて式の値について考察できるようにする

整数、自然数について、互いに比較しながら整理するとともに、式の値については、例えば、1は、 $3 \times 0 + 1$ というように $3 \times (\text{整数}) + 1$ の形で表すことができるので、 $3a + 1$ で表すことのできる数であることを確かめたり、 $3a + 1$ は、「3の倍数+1」を表す式であることから、示された数が3の倍数に1を加えたものになっているかを確かめたりする場面を設定することが考えられます。

中学校 2 年数学【2】解説シート

◆出題の趣旨

与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。

◆解答類型

1	アと解答しているもの	人	%
2	イと解答しているもの		
3◎	ウと解答しているもの		
4	エと解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

- 事柄や数量の関係を文字式で表したり，その文字式の意味を読み取ったりすることができるようにする

様々な問題解決の場面で文字式を利用する際に，事象における数量の関係や法則を文字式で表したり，文字式で表された事柄や数量の関係を読み取ったりすることができるように指導したりすることが大切です。

そのために，具体的な数や言葉を使った式を利用して数量の関係をとらえ，文字式で表したり，その意味を解釈したりする場面を設定することが考えられます。

中学校2年数学【3】解説シート

◆出題の趣旨

簡単な方程式(一元一次方程式，連立方程式，二次方程式)を解くことができるかどうかをみる。
・簡単な連立方程式を解くことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

- (1) 連立二元一次方程式について理解し，それを用いて考察することができるようにする。
ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。

◆解答類型

1◎	$x=-2, y=3$ と解答しているもの	人	%
2	x か y のいずれかが正解であるもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

解が適切であるか，確かめたり吟味したりすることができるようにしましょう。

方程式や連立方程式，二次方程式を解く際に，適切な方法で正しく解くことは大切ですが，解の意味を理解し，もとの式に代入して確かめたり，解が条件を満たしているかを吟味したりすることができるようにしましょう。

例えば，求めた解が本当に正しいかを生徒に問い返して，どうすれば確かめられるのかを確認する場を設けることが考えられます。そして，どこで間違えたのかを振り返り，途中式を書き残すことの重要性にも触れることが大切です。こうした活動を日常化することで，着実な計算力と解の妥当性を検証する力が付くと考えられます。

中学校 2 年数学【4】解説シート

◆出題の趣旨

事象の根拠となる数学的な性質を見いだすことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 B 図形

(1) 観察, 操作や実験を通して, 基本的な平面図形の性質を見だし, 平行線の性質を基にしてそれらを確認することができるようにする。

ア 平行線や角の性質を理解し, それに基づいて図形の性質を確認説明すること

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

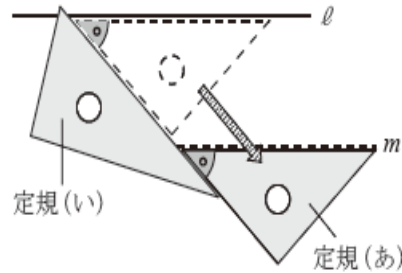
◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

作図の方法を図形の性質(平行線と角についての性質)に着目して見直すことができるようにしましょう。

例えば, 2枚の三角定規を使って平行線をひく場面で, 直線 l に対し直線 m が平行であることの根拠として, 平行線になるための条件「2直線に他の直線が交わってできる同位角が等しければ, この2直線は平行である。」が用いられていることを理解できるようにすることが大切です。

ここでは, 三角定規の1つの角に着目し, 動かす前と後の位置がそれぞれ三角定規を使ってひいた2直線の同位角であることを見いだせるようにすることが必要です。



また, 平行になることの根拠として, 平行線の性質「平行な2直線に他の直線が交わったときにできる同位角は等しい。」を用いる生徒がいると考えられるので, 平行線の性質と平行線になるための条件を適切に用いることができるようにすることも大切です。

同様なことは平行四辺形の性質と平行四辺形になるための条件など他の図形についてもいえるので, 図形の性質を考察する際には, 図形について成り立つ性質と図形になるための条件を適切に用いることができるようにしましょう。

中学校2年数学【5】解説シート

◆出題の趣旨

平面図形における性質や用語の意味等について理解しているかどうかをみる。
 ・錯角の意味を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連第

2 学年 B 図形

- (1) 観察，操作や実験を通して，基本的な平面図形の性質を見だし，平行線の性質を基にしてそれらを確認することができるようにする。
 ア 平行線や角の性質を理解し，それに基づいて図形の性質を確認説明すること

◆解答類型

1◎	$\angle b$ と解答しているもの	人	%
2	$\angle d$ と解答しているもの		
3	$\angle h$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

錯角，同位角，対頂角など，角の名称と位置関係を正しく理解できるようにしましょう。

具体的な図を用いて，もとの角を変えながら，錯角や同位角，対頂角を答える場を設定し，角の名称と位置関係を正しく理解できるようにすることが必要です。

中学校2年数学【6】解説シート

◆出題の趣旨

文字を用いた式で数量(等しい面積になるおうぎ形)について，公式をもとに等しい数量を表したものを選ぶことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2 学年 A 数と式

- (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし，それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに，文字を用いた式の四則計算ができるようにする。
 イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3◎	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

面積や体積の公式と図を対応させて理解できるようにしましょう。

面積や体積の公式を、単に文字式として記憶するのではなく、実際の図と対応させて理解することが大切です。そのために、作図をしたり模型を用いたりして、図形や立体と対応させて考える場面を設定することが考えられます。

中学校2年数学【7】解説シート

◆出題の趣旨

独立変数と従属変数の関係を的確に捉え、その関係を「～は～の関数である」と表現できるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 C 関数

(1) 具体的な事象の中から二つの数量をとりだし、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。

◆解答類型

1◎	①に 高さ(底から水面までの高さ) と解答し, ②に 時間(水を入れ始めてからの時間) と解答しているもの	人	%
2	①に 時間(水を入れ始めてからの時間) と解答し, ②に 高さ(底から水面までの高さ) と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

2つの数量の変化を関数の視点から捉え、その内容についての理解を深めることができるようにしましょう。

指導に当たっては、表を観察することなどを通して、「時間を決めると、それにともなって高さがただ1つ決まる」ことから、「高さは時間の関数である。」ととらえ直すことができるようにすることが大切です。その際、独立変数(時間)と従属変数(高さ)を区別し、「…は…の関数である。」という形で表現する場面を設定することが考えられます。

中学校2年数学【8】解説シート

◆出題の趣旨

関数についての用語の意味を理解しているかどうかをみる。

・切片が b である一次関数の式は $y = ax + b$ で表されることを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 C 関数

(1) 具体的な事象の中から二つの数量をとりだし、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。

イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
5	オ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

一次関数の式の特徴を表やグラフと関連付けて理解できるようにしましょう。

一次関数を式で表すことができるようにすることが大切です。例えば、傾きが a 、切片が b である一次関数の式は $y = ax + b$ で表されることや、傾きや切片の意味の理解を深める場面を設定することが考えられます。また、表、式、グラフを相互に関連づけながら、傾きや切片の意味を確認する活動を通して、一次関数の式の特徴を理解できるように指導することも考えられます。その上で、比例、反比例の式と一次関数の式を比べることによって、比例、反比例、一次関数について学び直す機会を設定することが考えられます。

中学校 2 年数学【9】解説シート

◆出題の趣旨

事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することができるかどうかをみる

◆学習指導要領との関連

第 2 学年 A 数と式

(1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。

イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。

◆解答類型 (1)

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3◎	ウ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆解答類型（2）

(正答の条件)				
<p>< $3(n+1)$ と計算している場合 > 次の(a), (b)を記述している。 (a) $n+1$ が中央の整数だから, (b) $3(n+1)$ は中央の整数の3倍である。</p> <p>< $3n+3$ と計算している場合 > 次の(c), (d), (e)を記述している。 (c) $3n+3$ が $n+1$ の3倍になることを示している。 (d) $n+1$ は中央の整数だから, (e) $3n+3$ は中央の整数の3倍である。</p>				
1◎	$3(n+1)$	(a), (b) の両方を記述しているもの	人	%
2○		(a), (b) のどちらか一方を記述しているもの		
3○		(a), (b) の両方を記述していないが、中央の整数の3倍であることを示していると判断できるもの		
4		(a), (b) の記述に誤りがあるもの		
5◎	$3n+3$	(c), (d), (e) の全てを記述しているもの		
6○		(c)と(d), (c)と(e), または(c)のみを記述しているもの		
7		次のいずれかの場合に当てはまるもの <ul style="list-style-type: none"> ・ (d) と (e) を記述しているもの ・ (d) のみを記述しているもの ・ (e) のみを記述しているもの ・ (c), (d), (e) を記述していないもの 		
8		(c), (d), (e) の記述に誤りがあるもの		
9		上記以外の解答		
0		無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることができるようにしましょう。

事象を数学的に考察できるようにするために、数量の関係や法則などを式に表したり式を事象に即して解釈したりする活動を取り入れることが考えられます。

例えば、本問題を利用して、太郎さんの説明から、()の中はどのような数であるかを問い、そのことから3つの整数の表し方を考える活動などが考えられます。

事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにしましょう。

事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにするために、事柄の意味を事象に即して読み取り、読み取った意味に基づいて、説明する事柄(B)とその根拠(A)を明確に区別し、「(A)であるから、(B)である。」のように的確に表現できるようにすることが考えられます。

例えば、本問題を利用して、囲み方を斜めに変えたり、囲む数を5つにしたりして、言えそうな性質について説明する活動などを位置付けましょう。

中学校 2 年数学【10】 解説シート

◆出題の趣旨

2つのグラフの様子を的確にとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 C 関数

- (1) 具体的な事象の中から二つの数量をとりだし、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。
 イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。
 エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。

◆解答類型

(1)

1◎	$y=40x+2000$ と解答しているもの	人	%
2	$y=30x+1800$ と解答しているもの		
3	$y=\frac{8}{25}x+2000$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(2) (①, ②は、右の正答の条件による)

1◎	B社を選択し、①, ②について記述しているもの (結論はなくてもよい。以下同様。)	人	%
2	グラフに着目して記述しているが、B社が選ばれる根拠として誤りがあるものや、グラフの読み取りに誤りがあるもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(正答の条件)
 2社のグラフを比較して、次のことについて記述しているもの。

【B社を選択】

①80という数値や80分という記述

②グラフにおけるyの値で、A社とB社を比較する記述

※②は正しいことを記述していること
 <例>

- ・ B社のグラフのyの値がA社より小さい。
- ・ A社のグラフのyの値がB社より大きい。

◆学習指導にあたって

式とグラフを関係づけて理解できるようにしましょう。

生徒にとって身近な場面での問題においては、文章で表された事柄とグラフの傾き、切片との対応がつかないことも多いと考えられます。「基本料金は、グラフではどのように表されているのか」「傾きは、問題文の中の何を表しているのか」など生徒に問い返し、確認する場を設けることで、文中の言葉とグラフ、グラフと式を関連付けて理解できるようにすることが大切です。

判断の理由を数学的な表現を用いて的確に説明できるようにしましょう。

説明する事柄(B)とその根拠(A)を明確に区別し、「(A)だから(B)である」のように的確に説明できるようにすることが大切です。

また、生徒の説明には日常的な表現が多くみられるので、これらを数学的に表現することで、よりの確な説明になるよう見直す場面を設定することが考えられます。例えば、「B社を選らぶ」ことの根拠として、「B社の方が安いから。」という生徒の表現を取り上げ、「安い」ことについて話し合う場面を設定し、「yの値が小さい」「グラフのy座標がより下になる」など数学用語を用いて表現できることを確認することが考えられます。

平成 27 年度 C 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

※答えはすべて解答欄に書きなさい。

1 次の英文を読んで、【1】から【4】の各問いに答えなさい。

〈朝食を食べているとき、ジョン(John)とお母さんが今日の予定について話をしています。〉

Mother : Did you do your homework last night?
John : Yes, I did. And I ①(help) my brother with his homework.
Mother : Oh, you did a good job. Anyway, what's your plan after school today?
John : I ②(going / join / to) my soccer club. It'll start from four in the afternoon, and I'll play soccer for two hours. Can you pick me up by car?
Mother : Well, I'll work at my office till six, and it takes about 30 minutes to the soccer stadium.
John : Umm...I'll check the bus timetable.
Well, OK.
Mother : I see. I'll go there.

Bus Timetable
⋮
16:00
17:30
19:00
20:30

{注} you did a good job : よく頑張ったね anyway : ところで
pick~ up : ~を迎えにくる till : ~まで take : (時間が) かかる
soccer stadium : サッカー競技場 timetable : 時刻表

- 【1】下線部①の () 内の語を、最も適切な形になおして1語で書きなさい。
- 【2】下線部②が意味の通る英文になるように () 内の3語を並べかえ、かつ1語を補って書きなさい。
- 【3】前後の文のつながりを考えて、内に当てはまる最も適切な文をア~エの中から一つ選び、記号を書きなさい。
- ア Can you wait at your office?
 - イ Can you take the 19:00 bus?
 - ウ I'll wait at the soccer stadium.
 - エ I'll take the 17:30 train.
- 【4】本文の内容について、次の質問に英語で答えなさい。答えは () 内に1語ずつ書きなさい。
- Will John's mother work at her office today?
(), () ().

2 次の英文を読んで、【5】から【7】の各問いに答えなさい。

I went to *Tsumago* with my family in①(7月). *Tsumago* has many things②to see. I saw a lot of foreign people there. When I said "hello" to them, all of them answered with a smile. I learned that I can make friends with many people with③a short word.

{注} *Tsumago* 妻籠宿 (つまごじゅく。木曾にある古い町並みが残っている観光地。)

- 【5】下線部①が「7月」の意味を表すように、() 内に正しい英語1語を書きなさい。

【6】下線部②と同じ使い方をしているものを、ア～ウの中から一つ選び、記号を書きなさい。

ア It's time to go home. イ You want to go to Canada. ウ I went to Tokyo to see my friends.

【7】下線部③の例として最もふさわしい英語1語を、本文中から探して書きなさい。

3 次の【8】から【10】の各問いに答えなさい。

【8】次の対話が自然な流れになるように、 A B に当てはまる最も適切な組み合わせを、下のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

〈幸太 (Kota) がALTのグリーン先生 (Mr. Green) に話しかけています。〉

Kota : Mr. Green, we want to do some sports with you. Will you play baseball tomorrow?

Mr. Green : Thank you, Kota. A In my country baseball is not so popular.

Kota : Oh, really? B . We like it too.

Mr. Green : I like it very much. It's a popular sport in my country.

〔注〕 country : 国

- | | | | |
|---|---|-------------------------------------|-------------------------------|
| { | ア | A : I can play baseball well. | B : Then let's play baseball. |
| | イ | A : I can play soccer well. | B : Then let's play baseball. |
| | ウ | A : But I can't play soccer well. | B : Then let's play soccer. |
| | エ | A : But I can't play baseball well. | B : Then let's play soccer. |

【9】ペットショップで、リサ (Lisa) は犬と猫のどちらを飼うか迷っています。父親は、犬と猫のどちらにするかはリサに決断を任せようと考えました。話の流れに合うように、 にあてはまる英文を1文書きなさい。

Father : This cat has beautiful blue eyes, and your sister likes cats very much.

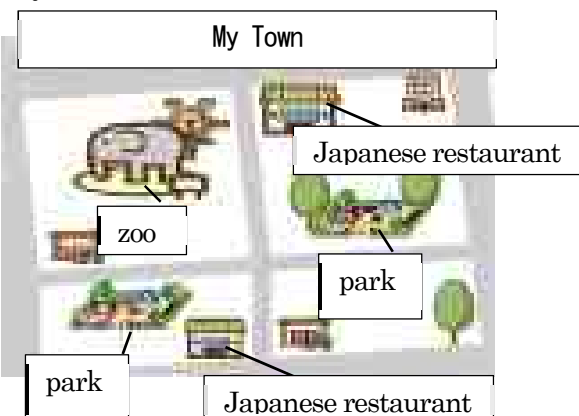
Lisa : Yes. But my mother likes dogs, and the eyes of this dog are big and cute!

Father : Umm...OK.

Lisa : Dogs!

〔注〕 cute : かわいい

【10】下の地図にあるものを選び、それについて外国の方に紹介する英文2文を、次の条件に従って書きなさい。



【条件】

Please come to my town. という英文に続けて、

- ① 1文目は、地図にあるものについて **There** から始まる英文を書きなさい。二つあるものは複数形で紹介すること。
- ② 2文目は、①で選んだ場所でできることを考え、**You** から始まる英文を書きなさい。

解答用紙

正答数

問/10問

平成27年度 C調査問題 中学校2年英語

2年()組()番 氏名()

[解答欄]

1	【1】	
	【2】	() () () ()
	【3】	
	【4】	(), () () .
2	【5】	
	【6】	
	【7】	
3	【8】	
	【9】	
	【10】	Please come to our town. ① ②

解答例

正答数

問/10問

平成27年度 C調査問題 中学校2年英語

2年()組()番 氏名()

[解答欄]

1	【1】	helped	
	【2】	(am) (going) (to) (join)	
	【3】	ウ	
	【4】	(Yes), (she) (will).	
2	【5】	July	
	【6】	ア	
	【7】	hello	<ul style="list-style-type: none"> ・下線部はなくても○とする。 ・dogs, cats は dog, cat でも○とする。 ・(例) 以外の英文でも、Lisa に判断を任せていることが伝わり、なおかつ Lisa の Dogs! という答えに自然につながるものは○とする。
3	【8】	エ	
	【9】	(例) Which do you like <u>better, dogs or cats</u> ? Which is your favorite, <u>dogs or cats</u> ? Do you like dogs or cats?	
	【10】	Please come to our town. ① (例) There is a zoo. / There are two Japanese restaurants. / There are two parks. ② (例) You can see cute animals. / You can eat sushi. / You can play soccer.	

- ①複数あるもの(Japanese restaurant, park)は、two または some があり、名詞に s が付いているものを○とする。
- ②・(例) 以外の英文でも、①と対応していると判断されるものは○とする。
- ・軽微な綴りミスや冠詞、単数複数のミスは準正答 (○) とする。
- ※2つあって1つ○になる。

中学校 2 年英語【1】解説シート

◆出題の趣旨

時制に応じて動詞を活用できるかどうかをみる問題である。ここでは前文の did に着目し、動詞 help は規則変化動詞であるので、helped に変化させることが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(3) 言語材料

エ 文法事項 (エ) 動詞の時制など

現在形, 過去形, 現在進行形, 過去進行形, 現在完了形及び助動詞などを用いた未来表現

◆解答類型

1 ◎	helped と解答しているもの	人	%
2	help と解答しているもの		
3	語尾に s(es)をつけ解答しているもの		
4	語尾に ing をつけ解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

一般動詞の過去形について、現在形と比較しながら口頭練習を十分に行った後、過去形の文に直して書かせることで定着を図りましょう。

◇カード、絵、写真などを用いて、一般動詞の過去形と現在形を比較させながら口頭練習をしたり、現在形の文を過去形の文に直したりすることで理解・定着を図りましょう。

【口頭練習の例】

①一般動詞の現在形と過去形が書かれたカードを順番に見せて口頭練習を行う。

play→played watch→watched go→went see→saw

②カードの語句を見せて【基本文1】を過去形になおして口頭練習を行う。

【基本文1】 He yesterday. (カード) play baseball / go to Tokyo

③カードの語句を見せて【基本文2】を過去形の文にして口頭練習を行う。

【基本文2】 ① ② ③ (カード) ① I You He She
② play tennis go to Osaka
③ yesterday last week

She went to Osaka last week.

◇現在形を用いて「普段の生活」について書く活動をした後、過去形を用いて「昨日したこと」や「夏休みにしたこと」など、過去の出来事についての日記等書く活動や、2, 3 文程度を書く活動を位置付けるなどして、それぞれの用法の違いに気付かせた上で、過去形の定着を図りましょう。

中学校 2 年英語【2】解説シート

◆出題の趣旨

助動詞などを用いた未来表現 [主語+be 動詞+going to+動詞の原形]の定着をみるものである。ここでは、前文の **what's your plans** に着目し、「参加する予定です」という未来表現を使った内容になることをとらえ、主語の I に合わせて be 動詞の **am** を加え、正しく並べかえることが求められる。

◆学習指導要領との関連

- (3) 言語材料 エ 文法事項
 (エ) 動詞の時制など <助動詞などを用いた未来表現>
 We are going to play basketball after school. など。

◆解答類型

1 ◎	am going to join と解答しているもの	人	%
2	is(are) going to join と解答しているもの		
3	going to join と解答しているもの		
4	am join going to など語順が間違っ		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

英語と日本語の語順の違いを意識させながら、「主語+助動詞+動詞+目的語」+「場所+時」の語順に着目させましょう。

◇文法事項の説明のみでなく、必要に応じて、文の語順についても指導しましょう。

「私は来年日本を訪問する予定です」を英文にしてみよう。

英語は、「主語+動詞」の順に並べるんだな。

主語になりそうな語はどれかな。

「～は」が主語だから、「私は」の I だな。

動詞になりそうな語はどれかな。

「～する」が動詞だから「訪問する」が動詞かな。だから visit かな。

時制は何かな。

「訪問する予定です」だから未来形だ。英語では be going to を使うんだっただな。

どう並べたかな。to の後はどうなるかな。

主語が I だから be 動詞は am。I am going to ・ ・ で to のあとは to+動詞の原形だから visit だ。

英文全体を言ってみよう。

I am going to visit Japan next year になる。

◇口頭で確実に言えるようになるまで十分練習した後、学んだ表現を用いて書く活動を行いましょう。その際、「主語と動詞の関係」や「時制」を観点に自己評価できるように指導しましょう。

中学校 2 年英語【3】解説シート

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、その概要を読み取ることができるかをみる問題である。また、本文の中から手がかりとなる語句や表現を見つけ、それをもとに、選択肢の中から適切な英文を選択することができるかどうかをみる問題である。ここでは、①John が「6 時までサッカーをやる」ということ、②お母さんが「6 時 30 分なら迎えが可能」ということ、さらに③バスの時刻表から 19:00 にならないとバスに乗れないこと、④お母さんの I'll go there. と答えていることの 4 つの情報から判断して、ジョンは「サッカー競技場で待つ」という内容の文が適切に選べるかどうかを求められる。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

◆解答類型

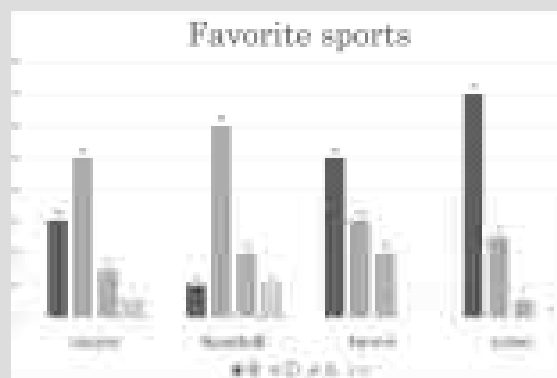
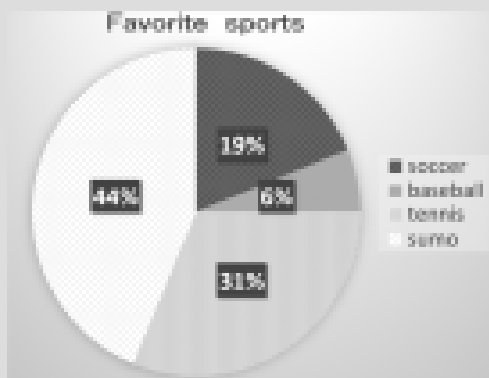
1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3◎	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

日ごろから、身近なことを題材にしたグラフや図、表などの様々な情報の中から必要な情報を見つけ出し、正確に読み取る活動を行うようにしましょう。

◇様々な情報の中から必要な情報を見つけ出し、正確に読み取れるようにすることは、【読むこと】の指導の中で今後一層重要になってきます。こうした力を付けていくためには、次のような資料を授業の中で意識的に扱い、英語を用いたグラフや図、表などに慣れ親しむことが大切です。例えば、クラスで人気のあるものを調査し、その結果を表やグラフにして英語で発表し合う活動を行います。その際、聞き手に情報を正確に読み取ってもらうために「What's the most popular sport in our class?」などと質問を一つ加えることが効果的です。



中学校 2 年英語【4】解説シート

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、簡単な質問を理解し、Yes か No を使って適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは、本文中の I'll work at my office に着目すること、John's mother を代名詞の she に変えること、Will が疑問文の文頭にきているため、答えの文末も will になることが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。

(3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞 (can, do, may など) で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why) で始まるもの

◆解答類型

1 ◎	Yes, she will. と解答しているもの	人	%
2	Yes, ~will. と解答しているが、主語が she でないもの		
3	Yes, she ~. と解答しているが、文末が will でないもの		
4	No, ~ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

尋ねられたことに対し、どのように答えればよいのかを理解させ、言語活動を繰り返す中で確実に身に付けることができるように指導しましょう。

◇be 動詞と一般動詞の yes-no 疑問文と、その応答の仕方について基本的な特徴を理解させることに留意し、聞いたり読んだりしたことなどについて問答するような言語活動に繰り返し取り組めるようにしましょう。その際、尋ねられた部分だけを答えるのではなく、フルセンテンスで答えたり、答えを書いて確認させたりするなどして、確実な定着を図りましょう。

尋ねられた内容について Yes かな No かな。

尋ねられた内容が述べられている部分を見つけ、内容に照らし合わせて判断しよう。

答えの文ではどの代名詞を使えばよいかな。

Nancy についてだから、she を使うといいな。

答えの文の文末はどんな形かな。

be 動詞の疑問文の答えの文末は is, am, are, was, were だ。一般動詞の疑問文の答えの文末は do, does, did 等だな。ここでは、Did で尋ねられているから、答えの文末に did をつけて答えればよさそうだな。

中学校 2 年英語【5】解説シート

◆出題の趣旨

中学 1 年生で指導する基本的な語を英語で正しく書く力をみる問題である。12 ヶ月は、小学校で音声を中心に慣れ親しんできている。その素地を生かして中学校で正しく書くことができるようにすることが求められる。

◆学習指導要領との関連

- (3) 言語材料 ウ 語, 連語及び慣用表現
(ア) 1200 語程度の語

◆解答類型

1◎	July と解答しているもの	人	%
2	july と単語の始まりを小文字で解答しているもの		
3	Julay, Jury 等 (綴りの誤り) と解答しているもの		
4	June など他の「月」の名称を正しく書いているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

曜日, 月, 数字などは, 中学校入学直後に音声を中心とした学習をただで書く経験の少ないまま 2 年生の後半まで来てしまっている場合もあります。一度綴りテストを行い, 実態を把握し, 必要なら改めて書いて覚える時間を取りましょう。

◇日常生活でよく用いられる曜日, 月, 数字のような基本的な語句を発音した後, 綴りを確認しながら正しく書く場面を仕組みましょう。

1 2 の月が英語で言えるかな。

ジャヌアリイ, フェブラリイ, マーチ, エイプリル。。

しっかりと覚えてますね。では, 1 2 の月を英語で書いてみよう。

エイプリルだから “Eipuril” かな・・・。綴りを確認してみよう “April” だ。発音と綴りは違うぞ!!

※綴りと発音の関係で注意が必要な語については, 特に注意しましょう。

“August” は, 発音がオに近いからといって O で始めないように注意しましょう。

例えば, “A-u-g-u-s-t” 綴りは「アウグスト」で覚えよう。発音は「ウカグスト」だ。注意して覚えよう。

◇授業開始時に, 日付, 曜日, 時間などを全体で確認し, 学習カードや授業用ノートにその日の日付を英語で書いたり, 家庭学習の際にも, 家庭学習用ノートやプリントに英語で日付, 曜日を書いたりするなど, 日常的に書く工夫をして定着を図りましょう。

中学校2年英語【6】解説シート

◆出題の趣旨

中学校2年生で指導する to 不定詞の用法について理解しているかをみる問題である。ここでは、文中での使い方に着目して「～するための」という意味であることを判断することが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(3) 言語材料

エ 文法事項 (カ) to 不定詞

◆解答類型

1◎	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

to 不定詞の異なる用法が混在する英文を書く言語活動を位置付け、同じ形で様々な内容が表現できることに着目させましょう。

◇「夏休み」を題材にしたモデル文を提示し、to 不定詞の異なる用法に着目させましょう。

〈モデル文〉

Last summer I went to Kyoto () see my grandmother.

Kyoto has many places () see. I'm going to visit Kyoto again this summer.

I hope () see many foreign people and speak English with them.

はじめに () に入る語を考えさせる。続いて、下線部はどのような意味になるかをペアやグループで考え合う場を設定することで、同じ to see であっても多様な働きをすることを実感させる。

◇モデル文を参考に、自分の夏休みについて書かせる場を設定しましょう。

◇単元のまとめとして、「名詞的用法」などの分類を教えるよりも、2年生の段階では「～するため」「～すること」「～するための(すべき)」などの言葉を用いた方が多くの子どもにとっては理解しやすいでしょう。

to 不定詞は教科書本文の中で繰り返し出会わせながら定着を図るべき内容です。そのためには、この後学習する2年生教科書本文の中から to 不定詞すべてにあらかじめ線を引かせ、その下に「～するために」などと書かせておく方法もあります。

中学校 2 年英語【7】解説シート

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容を適切に読み取ることができ、別の表現で言い換えているものが何を指しているのかを、本文中から選択することができるかどうかをみる問題である。ここでは、話者が学んだ内容（“I can make friends with many people with a short word.”）とそれを支える具体的な事実（“When I said “hello” to them...”）という関係性を読み取り、“a short word” という語の意味も正しく理解した上で判断することが求められる。

◆学習指導要領との関連

（1）言語活動

ウ 読むこと （ウ）物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

◆解答類型

1◎	hello と解答しているもの	人	%
2	hallo hellou 等〈綴りの間違い〉と解答しているもの		
3	smile と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

2種類の読み方（Skimming と Scanning）を用いて、正確な読み取りにつなげましょう。

◇中学校学習指導要領解説 外国語編 言語活動の指導事項 ウ 読むこと

（ウ）物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること より

「例えば、物語では、どんな登場人物がいるのか、主人公は誰か、話がどのように展開していくのかなど、大まかな流れをつかみながら読み取ったり、説明文では、特に中心となる事柄など大切な部分をとらえて的確に読み取ったりすることである。」



◇指導の具体

以下の2種類の読み方を参考にして、題材内容に応じて指示や発問を工夫しましょう。

◎大まかな流れをつかみながら読むこと(Skimming)を使った読ませ方

- ・ 5W1H を中心に各段落を読み取っていきけるように、登場人物などのキーワードに○を付けさせたり、時系列に出来事を表にまとめたりして読み取らせていく。

◎中心となる事柄など大切な部分を捉えて読むこと(Scanning)を使った読ませ方

- ・ 手がかりとなる語句や表現をヒントとして与えたり、事前に内容を尋ねる質問をしたり、また設問の仕方に工夫をしたりするなどして、各文を読み取らせていく。

中学校2年英語【8】解説シート

◆出題の趣旨

豊かなコミュニケーションを行うためには、相手の意図を正しく理解し、適切に応じることが求められる。例えば、Will you~? という質問に対し、常に Yes/ No で答えるのではなく、相手の意向を汲んで適切に応じることなどである。そのためには、質問や提案などの直後だけでなく、複数の情報を関連させて適切な表現を選ぶことが必要である。ここでは、**A**の前に、グリーン先生が“Thank you”と答えていることだけで判断するのではなく、その後の“…baseball is not so popular.”に着目し、**A**には否定的な内容が入りそうなことを判断する。さらに、**B**の後には It's a popular sport in my country. と述べていることから、**A** と **B**には別のスポーツが入ることを判断することが求められる。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

ウ 読むこと (エ) 伝言や手紙などの文から書き手の意向を理解し、適切に応じること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

対話や教科書本文の読み取りにおいて、複数の情報を関連させて適切な表現を選ぶ場面設定や指導の工夫をしていきましょう。

◇帯活動などを通して、話を継続したり発展させたりすることに慣れ親しませましょう。

Let me see. や Well, など、会話を続けるために用いられる表現を練習する。1分間対話などの帯活動を位置付ける。使えた表現をファイルに蓄積し、すぐに見直せるようにする。

◇教科書本文をモデルとして、紋切り型でない言葉のやりとりに多く触れさせましょう。

教科書の中から、質問に対して Yes/No とは答えていない対話場面を取り上げ、多様な表現に慣れ親しませる。

(例) A: Could you read it for me, please? — B: No problem. Show me the part.

・上の対話について、BはAの依頼を受けているかどうか、ペアで話し合う。

中学校 2 年英語【9】解説シート

◆出題の趣旨

対話が行われている場面を理解し、問答の意味を考え、条件に合うように、英語を使って適切に応じることが求められる。

◆学習指導要領との関連

(2) 言語活動の取扱い ア (ウ) [言語の働きの例]

d 考えや意図を伝える

(3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞 (can, do, may など) で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why) で始まるもの

正答例

例 1) Which do you like (better, dogs or cats)? / Which is your favorite(, dogs or cats)?

例 2) Do you like dogs or cats?

◆解答類型

1◎	判断をリサに任せるといふ父親の意図をとらえ、正しい英文 1 文で答えているもの	人	%
2○	判断をリサに任せるといふ父親の意図をとらえ、英文 1 文で答えているが、英文に綴りのミスや文法的な間違い(dogs の s がないなど)があるもの		
3	判断をリサに任せるといふ父親の意図をとらえているとは判断できないが、正しい英文 1 文で答えているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答 (準正答)

◆学習指導にあたって

コミュニケーション活動を行う際は、話し手や聞き手の意向を正しく理解して取り組めるよう適切な場面を設定し、考えや気持ちなどを正しく伝え合う活動を行きましょう。

◇考えや気持ちを伝え合う活動においては、具体的な場面や状況に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができるよう工夫しましょう。

- ①具体的で分かりやすい場面を設定し、その場面にふさわしい表現をいくつか提示し、その中から、話し手の意向に沿って表現を選択できるようにする。
- ②考えや気持ちを伝え合う意欲を大切に、「正確さ」だけでなく「適切さ」を観点に表現を振り返るような場を授業に位置付けていく。
- ③帯活動等で、既習事項を活用してコミュニケーションを図る場を意図的に設定する。

中学校 2 年英語【10】解説シート

◆出題の趣旨

「町にあるもの」と「そこでできること」の二つを内容的に関連づけて英語 2 文で書くことができるかどうかをみる問題である。ここでは、書く内容を構想する力、正しく文を書く力が求められる。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

エ 書くこと (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。

正答例 2 文で完答とします。

例 1) There is a zoo (in my town). You can see many cute animals (there).

例 2) There are two parks (in my town). You can play soccer (there).

例 3) There are two Japanese restaurants (in my town). You can eat *soba* (there).

◆解答類型

<解答類型> ①, ②, ③, ④については下の正答の条件を参照。

正答の条件

- ① 1 文目は、そこにあるものについて **There** から始まる英文を書いている。二つあるものは複数形で紹介している。
- ② 2 文目は、①で選んだ場所でできることを考え、**You** から始まる英文を書いている。
- ③ 2 文とも、動詞の活用についての綴りミスをしていない。
- ④ 動詞の活用以外の単語に綴りミスをしていない。

		人	%
1◎	①, ②, ③, ④ をすべて満たすもの		
2○	①, ②, ③ を満たすもの		
3	1, 2 以外であるが、内容的に理解できる 2 文が書かれているもの		
4	内容的にも文法的にも正しいが、1 文だけ書かれているもの		
5	文法的な間違いがあるが、内容的に理解できる 1 文が書かれているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答 (準正答)

◆学習指導にあたって

「まとまりのある文を正しく書く」ために、段階を踏んで指導していきましょう。

◇「まとまりある文を正しく書く」ための段階を踏んだ指導 (例)

- ① 身近な事柄や自分の考え、気持ちなどを表すために必要な文法事項や表現等を教科書で学習したあと、生徒が書く必要感がもてる場を設定した上で、書く活動を位置付けましょう。
- ② 書く見通しをもたせるために、教科書本文をもとに書く型を示したり、教師のモデルから活用できる表現に気付かせたりするなどの指導の工夫をしましょう。
- ③ 文の完成後は、観点を明確にして生徒同士で読み合ったり、教師が添削をしたりして、生徒が英文の内容や構成、正しさに目を向けるような場を位置付けましょう。
- ④ 英文を正しく書く力の定着を図りましょう。
 - ・完成した英文を読んだり発表したりする活動を位置付け、文の語順や英文同士のつながりなどに着目できるよう指導しましょう。
 - ・家庭学習は、授業で学習した内容をもとに課題を出しましょう。